

図書館報 ぷらっつ★篠崎

024号

篠崎図書館を使いたおす!(第6回)

図書館の資料を予約するには



江戸川区立図書館所蔵の資料は、予約をかけてご希望の図書館に取り寄せをしたり、順番待ちをしたりすることができます。予約をかけるには3つの方法があります。①図書館カウンター ②館内のOPAC ③江戸川区立図書館HPです。図書館での取置期間は7開館日となっています。貸出禁止資料(参考資料など)には予約をかけられません。

CONTENTS

P2 **特集** 「動物の本」

P3 そのメロディに魅せられて♪
「ファンが選んだ美空ひばり映画主題歌集 ～東映編～」

P3 スタッフのセレクション!
「ジーンとともに」

P4 人物ブックマーク
「武田典厩信繁」

P4 江戸川まいにんぐ
「今年^{のぼ}は本祭り! 篠崎浅間神社祇祭り」

カウンター編

タイトルや著者名、出版社名などの情報から、スタッフが資料をお探しします。タイトルが分からない場合は新聞の書評を見た、雑誌で紹介されていたなども本を特定するための手がかりとなります。小さな情報でもお寄せください。また、江戸川区内の図書館に所蔵がない資料(図書・雑誌)は、リクエストのお申し込みをさせていただくこともできます。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。(ご希望に添えない場合もございます。)

OPAC編

OPACの詳しい操作方法についてはOPAC横に設置の使い方ガイドや、「ぷらっつ☆篠崎」23号(前号)をご覧ください。バックナンバーはスタッフまでお問い合わせください。

こちらがOPACの最初の画面です。

資料を検索し、タイトルにタッチすると、詳細画面が出ます。画面下の予約ボタンにタッチ。右上には全館の所蔵数、予約数などが表示されています。

予約画面に進みます。かしだしけん^の番号と、お誕生日を四桁で入力してください。(例: 1月1日生まれ→0101)

取置時の連絡方法と、受け取りたい図書館をお選びください。資料名・受取館名等が載っているレシートを印刷することもできます。

図書館HP編

江戸川区立図書館のHP (<https://www.library.city.edogawa.tokyo.jp/>)です。今回はパソコン用のHPをご紹介しますが、モバイルサイトもございます。

こちらが図書館のHPです。初めて利用する際は、画面左下の「登録内容の確認・変更」の項目からパスワード、メールアドレスを設定してください。HP上から予約をかける際はメールアドレスを登録しておくとお便利です。

資料を検索し、タイトルをクリックすると、詳細画面が出ます。左下の「予約する」ボタンをクリック。「予約する」ボタンの上には全館の予約数、下には所蔵数が表示されています。

予約画面に進みます。かしだしけん^の番号と、パスワードを入力してください。

取置時の連絡方法と、受け取りたい図書館をお選びください。「予約確定」ボタンをクリック→「はい」ボタンをクリックして、予約完了となります。

ライブラシネマ篠崎
「戦艦ポチョムキン」
 (1925年、ソ連/サイレント映画)
 監督: セルゲイ・エイゼンシュテイン
 出演: アレクサンドル・アントノフ グレゴリー・アレクサンドロフ
 ほか

6月16日(土)
14時~15時30分(開場 13時30分)
 場所: 篠崎文化プラザ 講義室
 定員: 70名(当日受付、先着順)
 どなたでも参加できます。
 入場料: 無料

6月に曝書を行います
 「曝書」とは、本来は図書の虫干しのことを指しますが、現在では図書館の所蔵データと実際の資料を突き合わせることを言います。本年、篠崎図書館では曝書を6月に行います。

そのため、当館の6月の休館日は
6/25(月)、26(火)
 となります。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願い致します。

人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

第十九葉 武田典厩信繁

親兄弟を追い落とし親類同士が争うのがあたりまえであった戦国時代において、自らの野心よりも兄の補佐役に徹し、最強のナンバー2と呼ばれた男がいた。かの武田晴信(のちの信玄)の弟、武田信繁である。幼少期、父信虎は晴信より信繁に才を見出し跡取りにしようとしたので、それが晴信による父の駿河追放の遠因となったともいわれる。兄晴信に負けず劣らず智勇に優れた武将であったが、父の追放後は兄を補佐し、“信繁こそは武田の副将”と評され山縣三郎兵衛ら家臣の信頼も厚かった。第4回川中島の合戦にて、上杉軍の奇襲を受けた

手薄な本陣を守るべく、自ら矢面に立ち奮戦。兄を守ることができたが自身は討ち死する。享年37歳であった。兄信玄は遺体に縋って号泣したほど悲しんだとも謂われている。この後、家臣・真田昌幸はこの勇名に深く感じ入り、次男に信繁(通称・幸村)の名を付けたとも謂われる。また敵将上杉謙信や織田信長でさえその武将ぶりを絶賛したという。事の真偽はともかく、兄弟で争った経験のあるこの2人は、最後まで兄を助けた信繁のなか

武田典厩信繁関連資料

「戦国武将ガイド」	米沢二郎・小山内新共著	新紀元社	281ヨ	篠崎所蔵
「戦国軍師伝」		学研	214セ	篠崎ほか所蔵
「図解山本勘助と武田一族の興亡」	童門冬二監修	PHP研究所	214ス	篠崎所蔵

江戸川まいにんぐ 発掘 第24回

「今年の本祭り！篠崎浅間神社幟祭り」

震災の影響で去年は中止された、上篠崎にある篠崎浅間神社の幟祭りが今年開催されます。篠崎の浅間神社は都内の浅間神社の中でも最も古いものの一つで、天慶元年(938年)の創建と謂われています。また、平貞盛が平将門降伏の祈願をこめて弓矢を奉納した、との謂われもあります。歴史ある篠崎郷一帯の鎮守として親しまれています。その幟祭りも壮観で、今でも約25mの高さの大幟が計10本も立ち並び、大勢の見物客が訪れます。人力で幟を上げる習わしでしたが、幟祭りに参加する人の減少により、一時クレーンなどの重機を使用したの幟上げとなっていました。

江戸川区内のイベントやスポットをスタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

しかし昭和55年、人の手による幟上げを復活させたい、と地元の若者が集まり「幟会」が発足。活気溢れる人力による幟上げが復活しました。幟幡を上げるのは神様をお迎えし、地域全体の安全安泰を願う意味があります。この御祭り自体が篠崎地区全体の“よどころ”として、いつまでも楽しく続いていくよう、篠崎に勤める者の一人としてお祈り申し上げます。では6月30日早朝、幟上げにて浅間神社でお会いしましょう！



篠崎文化プラザにて企画展示にお目見えした事も、講義室入口と比べてもその大きさが分かります！

参考資料

「篠崎浅間神社 幟祭りについて」 大塚誠著 江戸川区立篠崎図書館郷土資料担当 K1-38
「江戸川区史 第3巻」 江戸川区 K1-21-3

編集後記

生まれ変わるなら、ペンギンかパンダになって動物園で優雅に暮らしたいです。(風雲ふわふ丸) / 梅雨時は外出が億劫になりますねえ。その分読書が進むはず！とプラス思考でいきたいと思います。(ジーク・信玄) / 動物の本をいろいろ見ていたら、久しぶりに動物園に行きたくなりました。(愛燦燦) / もっぱら犬派です。猫カフェがあるなら犬カフェも……と思うこのごろ。(まろにえ船長)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館
住所：〒133-0061
江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内
TEL:03-3670-9102
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>